

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2  
発達段階に応じた教育の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 保健体育課健康づくり推進室長 日野久美 電話番号 0852-22-5425

事務事業の名称	子どもの健康づくり事業	
目的	(1) 対象	保育所・幼稚園等、学校、保護者、地域住民
	(2) 意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもがメディアとの関わり方を改善し、食事、運動、十分な睡眠など望ましい生活習慣を身に付ける。</li> <li>医師や助産師等の専門家による相談、講演事業など学校を支援し、子どもの健康課題の解決を図る。</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園や学校等に健康とメディアの関わりについて講義ができる講師を派遣し、子どもの心身の健康づくりの一層の推進を図る。</li> <li>学校に専門医を派遣し、研修会、職員会、講演会等の後援や相談を通して、心と性に関する指導の充実を図る。(心と性の健康相談事業(県立校))</li> <li>学校における健康相談において、教員が専門的な知見をもつ医師等に相談できる環境を整え、児童生徒の健康課題の早期対応及び解決を図る。(健康相談アドバイザー事業)</li> <li>国立青少年教育振興機構委託事業「早寝早起き朝ごはん」のフォーラムを開催し、子どもの基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図る。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	普段(月～金)、携帯電話やスマートフォンに1日あたりの使用時間が2時間未満の割合。	目標値		75.0	75.0	75.0	%
	式・定義	県学力調査実施者の中学2年生の割合	取組目標値					
			実績値		66.0			
2	指標名	性に関する指導の実施率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	健康状況調査による全校種の平均値	取組目標値					
			実績値	90.0	70.3	96.2		
			達成率	90.0	70.3	96.2		

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	3,529	4,142
うち一般財源(千円)	2,802	2,142

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- H29年度のメディア専門家の派遣数は過去最高 82件(H28年度62件)
- 派遣先による評価(満足度) 大変満足74.6%、概ね満足25.4%
- メディア依存症治療に携わる講師を招き、「子どもとメディア講演会」を生徒、教職員、保護者、地域、行政関係者を対象に、中学校で実施した。アンケート結果からも、概ね満足の評価を得ている。
- 県立校対象の心と性の健康相談事業は高評価を得ている。49校中41校(84%)が事業を活用し、更に実施校(41校)のうち、25校(61%)は2回実施している。
- 健康相談アドバイザー事業の中で、小中学校対象に専門医を派遣した申請は24件。また全校種対象の専門医による電話相談の利用件数は149件。

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

- 派遣する講師の講義内容が好評であり、継続的に派遣の依頼をする学校が年々増えてきている。それに合わせて、未派遣の近隣校でも依頼が増えている。
- 心と性の相談事業は、県立学校からのニーズが高く、心と性に関する指導の充実の大きな柱となっている。
- 健康相談アドバイザー事業は、電話相談という利便性のため、相談件数が増えており、学校の初期対応に成果を上げている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

### ①困っている「状況」

- 保育所・幼稚園等からのメディア専門家派遣の依頼が増えない。
- 携帯電話やスマートフォンを平日1日2時間以上使っている児童生徒の割合は増加している。(小学校6年:H28年度12.5% H29年度16.3% 中学校2年:H28年度31.1% H29年度33.8%)
- 「健康とメディア専門家派遣事業」と「心と性の相談事業」の隠岐地区の活用率が低い。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- 保育所、幼稚園等への周知が十分でないため就学前の幼児の生活習慣を整えることの重要性が、保育所、幼稚園等教職員や保護者に伝えられていない。
- 幼少期からのメディア接触が、成長発達に及ぼす影響について、保護者への啓発が十分でない。
- 隠岐地区に派遣できる講師が少なく、依頼のニーズの全てに対応できていない。

### ③原因を解消するための「課題」

- 対象を幼稚園、保育所の保護者(と幼児)を中心に依頼を受け付けるようにする。(依頼状況によっては、小中学校も受け付ける)
- メディア依存症の対応や眠育について広く県民に周知する。
- 隠岐地区の学校のニーズを把握する。
- 派遣実績の少ない隠岐・石見地区への派遣方法の検討

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- 健康とメディア専門家派遣事業は、メディア接触を含めた生活習慣の確立と健康課題解決に関する派遣事業として整理、健康相談アドバイザー事業は、教職員が行う専門医に対する電話相談(又は面会)に整理した上で、派遣先や対象を明確化し、学校等における健康づくりの支援を一体的に実施する。
- メディア接触は、幼稚園等の未就学児の保護者を対象にした研修会に優先的に派遣を検討する
- 健康とメディア学習教材の活用を進め、メディア依存症、眠育について理解を広げる。
- 「早寝早起き朝ごはん」フォーラムの成果を次年度の健康教育研修会等で報告し、学校・家庭・地域と連携した子供の基本的な生活習慣の維持・向上、定着を図る。
- 石見地区や隠岐地区で派遣できる医師や助産師等の外部講師を探すとともに、他地区在住の外部講師を石見地区や隠岐地区へ派遣する。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	子どもの健康づくり事業
---------	-------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	普段(月～金)、テレビゲーム(PC、携帯式、スマホ、ケータイも含む)に1日あたりの使用時間が2時間以内の割合。	目標値			80.0	80.0	80.0	%
			取組目標値						
	式・定義	県学力調査実施者の中学2年生の割合	実績値			73.8			%
			達成率	—	—	92.3	—	—	
4	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	